

発行所

津 奈 木 公 民 館
芦北郡津奈木町

電話 (78) 5400番

平成17年1月1日発行

第360号

○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の顔を写したものです。

前はカハ

津 奈 木



西 歳

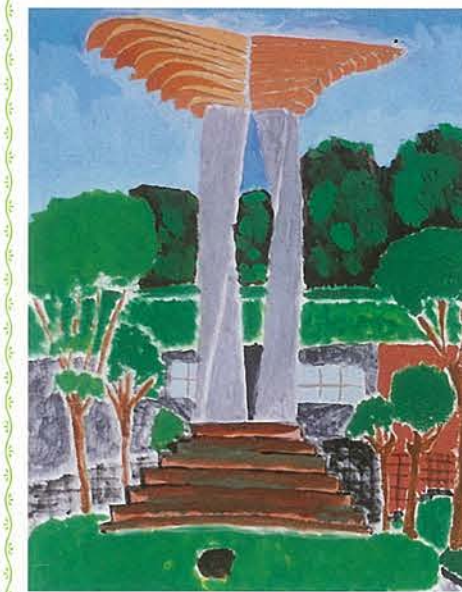
あけまして おめでとうござい
ます。
昨年、日本列島全体が災害列島とな
ってしまいました。その様な中
でも、町民の皆様方におかれまして
は、心新たに新春をお迎えのこと
と思います。
最近つくづく「いつから世の中、
こんなに可笑しくなってきたのだ
ろうか」と思うことがある。地球
温暖化、国際紛争、テフレ経済、
混乱する地方自治体、社会不安、
さまざま日本人の心等々。それらが
複合的に結びついて、灰色の雲と
なり、日本という国の上を覆って
いる。
世界の人口が六十億人を突破
し、森林面積が漸減し、九州の面
積以上が毎年砂漠化し、地球温暖
化が懸念されている。今迄には無
かったヨーロッパや南アメリカで
大洪水が度々起り、一昨年は水
俣市や我が町でも集中豪雨が發生
し、尊い人命が奪われてしまった。
不知火海では海水温度が高くな

新年のごあいさつ



津奈木町長 西川 裕

り、魚種まで変わってきている。
こういった地球温暖化の変化が農
林漁業に与える影響は大きいと思
う。
世界の食糧供給の将来も大いに
懸念されるが、加えて最近BSE
や鳥インフルエンザによる「食の
安全・安心」に対する不安から、
食糧供給不安へと「不安」が拡大
しつつある。WTO・FTAの交
渉次第では、日本の食糧自給率ア
ップどころか、日本林業のように
衰退の一途を辿るのは火を見るよ
り明らかなように思える。一次産
品でいち早く自由化された木材は
八割以上が外材で占められ、山林
衰退の大きな引き金になってい
る。
日本の国内総生産（GNP）約
五〇〇兆円の内、第一次産業の生
産高は五％以下ではない。しか
し第一次産業が「生産」という要
素以上に、環境維持や国土保全と
いった多面的機能が大きくクロ
ズアップされてきた昨今、政府は
これまで以上に「食糧安保」「農
山漁村」のために農林水産に力
を入れて欲しいと思う。
世界経済と共に歩む貿易立国日
本の立場を受け持つ「経済」が元
気でなければ国が立ちゆかないの
も事実であるが、一方的な経済至
上主義や効率第一主義のやり方
には疑義を感じる。今こそ武士道
の精神や和魂洋才が求められている
時ではないであらう。



「とき翼」

津奈木中一年 山本 桂司



「重盤岩眼鏡橋」

津奈木中三年 濱田亜津美

子ども美術館 (29)

(十六年度文化協会奨励賞作品)

お知らせ

成人式御案内

日 時：平成17年1月3日(月)

午前10時～

場 所：つなぎ文化センター

受付時間：午前9時30分から午前10時

(受付はお早めをお願いします)

※成人者のみなさん、ぜひご参加下さい。

親子「たこあげ」大会

参加者募集

●日時 平成17年1月16日(日)

午前10時から12時まで

●場所 津奈木総合グラウンド

雨天中止

(いろんな賞を準備しております。)

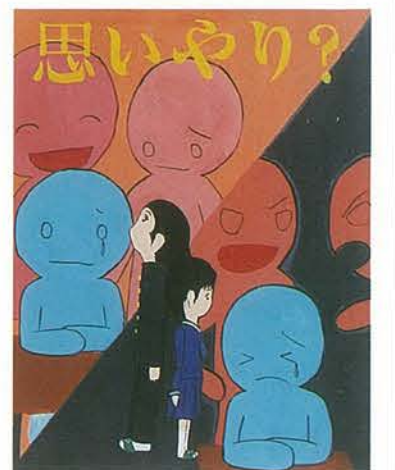
三太郎駅伝 一致団結して		(一般の部)	
選 手	コ ー チ	監 督	団 長
宮嶋 弘行・福田 必	村上 義廣	新立 啓介	鶴野 賢二
森山 広行・松永 清	藤原 審二・田口 伸二	清水 良二・平野 新市	倉野 義彦・倉本 健一
吉澤 信久・齊藤 拓己	諫山 吉光・竹本 昌広	門崎 功晃・宮島 哲男	吉野 貴則・開田 龍一

農原由二郎・堀田 将豊
福田 晃一・山路伸一郎
石田 博範・新立 司
村上 泰央
マネージャー
久村りえ子・土屋 有紀
荒竹 寛代



団旗授与

人権教育月間の作品



津中二年 真野みさき

(中学生の部)	
男 子	女 子
福田 康孝・山本 大貴	松田千恵美・柳迫 晴葉
平畑 光基・財部 優太	
上野 晃介・藤井 大樹	
山路 宏幸・伊藤 佑真	
平居 芳明・鶴野 智久	
(本町通過予定時刻)	
総合グラウンド前	10時30分
新川橋	10時33分
中学校前	10時37分
千代畜魂碑前	10時45分

編集後記

柳迫安由美・篠原 由美
長 道 綾
おめでとうございます。
とおりの始めの
ためしーとてー
おーわりなきよの目出
たさを……
年配の方は口ずさんだこ
とがありでしょう。
昨年は暗い話題が多かつ
た様に感じますが、今年は
紀宮様のご婚儀と喜ばしい
話題からのスタートで喜ば
しい限りです。
西年にふさわしく大いに
翔いて下さい。
編集委員一同

祝成人

住んで楽しい津奈木町を目指します

成人者名簿

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
竹中	松上裕太	新川	濱本旭	倉谷	平松あゆみ	平国下	柴原麻衣
	吉村行生		下崎希美		森下美香		長濱千佳
	日野衣子	古川	神村和	内野	大淵達也		長濱千帆
	百合園睦		磯見裕子		川上友宏		濱田優歌
染竹	宮嶋晃司		村上真美		寺本美雪	日当	上村公助
	岡本愛		山下侑子	上下門	坂口彰太		浜辺大輔
浜崎	浦口祐介	大泊	川手幸平		竹田裕紀		林田翔太郎
	大園剛		新立慶蔵		福田崇		平田慎一
	津奈木秀王		新立敏典	川内	下川慎吾		平田やよい
	林大輔		柳迫大輔	福浦	福山智宏	日添	上村祐亮
	洲上大地		柳迫優弘	平国上	諫山あゆみ		吉野聖
	吉本梓織		新立範子		長濱有紀		吉野孝則
桜戸	新立誠	中尾	秋田正幸	平国下	鬼塚幸知		吉野早奈美
	原田陽介		洲本孝太		佐々木隆成	小津奈木	折木翔
	松田俊一		千々岩真枝		千々岩磯六		吉海裕介
	谷村直美		野崎珠美		長濱大助		山本ちあき
	村上魅紅	古中尾	中尾健一		濱田隆則	丸岡	磯見麻希子
町中	齋藤弘賢		古本陽子		村上浩章		上田のぞみ

この名簿は中学校卒業生名簿を参考につくりました。



成人になって私の決意



新立 誠さん

うとしている。まだまだ未熟ではあるが、自分の言動に責任を持ち、いろいろな人々との出会いが大切にし、一生懸命がんばっていきなう。



新立 敏典さん

社会に出て二年近くが経ち自分も成人という節目の



磯見 裕子さん

私自身は全く変わっていないのに、社会ではそう見えてはくれない。私は今年「成人式」を迎える。現在、将来放射線技師として働く為に勉強している。立派な技師になる為に今やるべきことは、知識を増やすこと、またこれから出会うであろう



長濱 千帆さん

成人式という大きな節目

う困難の為に精神的に成長することである。まだまだ未熟ではあるが、「成人」となった者として自覚を持ち、親や支えてくれる人々に感謝しつつ、一日一日を大切に過ごしていきたい。

を迎えて正直不安な気持ちがあります。「成人」というとしっかりとしていなければと考えていました。しかし、今の自分は考えていたものとは違い、まだまだ甘い部分を残しています。これからは自分の考えていたものに近づけるよう努力していきたいと思っています。社会に出て多くの人と関わりいろいろなことを学び、経験して自分自身大きく成長していけるだろうと期待しています。

新たに小津奈木地区

公民館活動奨励補助

小津奈木地区の公民館活動助成事業が十一月二十三日「勤労感謝の日」好天気

に恵まれ地区民総出による小津奈木神社境内に於いて行なわれました。

出演、更に盛り上げたカラオケと最高潮に達しました。地区同志でもなかなかふれあう機会が少ないので有意義な場になったようです。まづりは以前から執り行われていましたが公民館行事として取り組んでから九年目を迎えているとのことです。昼食をはさんでのまつりなので「お神酒」も入って更に盛り上がりまし



小津奈木神社境内

す。折角の行事だけど、子どもたちの参加が少なく、ここにも少子化社会の陰をおとしているように感じた次第でした。

おめでとうございます

県文化財保護功労者表彰



岡松 莊一郎氏

熊本県文化財保護大会において、文化財保護功労者表彰を受けられました。

岡松先生は、永年に亘って教育委員をはじめ委員長の要職にあつて本町教育の発

展に大きく寄与されました。また、芦北・水俣地方の地名研究会をリードされています。本表彰は地域の歴史や、文化財を通して郷土愛や豊かな心を培う契機とするために著しく功績が認められた個人や団体におくられる表彰です。



鶴野 達雄氏 (故人)

①つなぎ絵画クラブ ②七十八歳 (逝去) ③津奈木

津奈木町文化協会功労者表彰

次の御三人は永年に亘って、津奈木町文化協会の理事及び監事、それぞれの部の発展に貢献されました。(①団体名、②年齢、③経歴、④功績の内容)



岩本 善吾氏

①ふれあいカラオケ ②七十三歳 ③元理事 ④永年にわたり文化協会の理事及び代表として文化協会の普及発展に功績がありました。



長浜 国光氏

町文化協会監事及び理事 (つなぎ絵画クラブ塾長) ④永年に亘り文化協会の理事及び監事を務められ、文化協会の普及発展に功績がありました。



がまくんは、いつもかなしい気持ちで手紙をまわっていました。がまくんは、今まで一どもお手紙をもらったことがなく、きょうも、お手紙がくるのをまつていました。わたしは、「一どもお手紙をもらったことがないなんてかなしいだろうなあ。」と思いました。わたしは、今までの百ドルのえ顔が大すきです。」というようなことが書いてありました。それから、わたしは元気になって、今では毎日え顔です。紙は、心のおくすりになる

読書感想文

「お手紙」を読んで

赤崎小2年 吉野 やよい

す。これからがまくんとかえるくに、お手紙をやり



2004 つなぎふれあい祭り

津奈木町総合
グラウンド（展
示部門）と、つ
なぎ文化センタ
ー（発表部門）
に於いて開催さ
れ盛会だったこ
とご承知のお
りとおもいます。
小中学生奨励
賞作品を紹介します。なお、
一・二年生の硬筆部門は鉛筆
の濃淡の具合で印字が揃わ
ずに紹介することが出来ま
せんで、三年生以上の毛筆
部門の奨励賞を紹介します。

絵画作品の紹介は公民館
報の「子ども美術館」にて
順次紹介していきますので
ご覧ください。

〔奨励賞作品〕

小学生の部



作品展示風景



〔奨励賞作品〕

中学生の部



社会探訪

「あけぼの大学」の社会
探訪は、三年に一回、各校
区毎に実施しています。今
年は平国校区が十一月十日
（水）鹿兒島市内で実施しまし
た。素晴らしい秋晴れで、
天気には恵まれましたが平
国地区はいろいろな行事
（天子宮さん・別の団体の
旅行）と打ち合ったため参
加者も少なく十九名でし
た。

七時半出発で定刻に全員
集合して発車することが出
来ました。発車直前になっ
て大事な物？（何でしょう）
を忘れたと言うユーモアな
……



黎明館前にて

出来事もありました。高齢
者にはよくある忘れ物でし
た。
目的地の鹿兒島市に着き
先ず、かるかん工場の見学
でしたので買物（土産）を
済まされた方は心おきなく
……

ファインディング・ニモ 風ん子映写会について

文化センター
に入ると、友達
が何人も来てい
た。話しかける
間もなく、会場
いっぱい子供
のにぎやかな声
がひびき、お祭
りの時みたいだ
った。これは前
にビデオで観た
ことがあったけ
ど、大きな画面
で観るとすごい
迫力で、ニモや
……

お父さんのマーリンの冒険
にどんな引き込まれてい
った。中でもマーリンが大
きなサメに追いかけられた
所では、前に座っていた一
年生が「うわっあぶないッ
とさけび、思わず僕もドキ
ッとした。横の妹を見たら
両手で目をかくしてこわが
っていたのがおもしろかつ
た。ニモのヒレは片方が小
さい。普通ならハンデにな
る所を「ラッキーフィン」
と呼んで明るく乗りこえて
いるのがすごいと思う。他
……

青少年健全育成事業

助産師で地域に貢献

林田アリエさん(81)

ここに、こんな人が……
（浜崎）
この度、母子保健
の向上及び家族計画
の普及の尽力に対し
厚生労働大臣より表
彰を受けられました。
助産師学校を卒業
後、助手を一年間程
経験を経て、昭和
二十三年五月自宅で
助産師業を開業され
ました。戦後、国の
施策だった受胎調節
実施指導員や妊産婦
の指導、町の赤ちゃ
……



昭和61年3月末日 サクラ病棟にて

ん大会、保育指導、予防注
射等に携わってこられまし
た。四十五年五月からは、
重度心身障害児施設の芦北
学園での生活も始まり、そ
れまでの助産師の仕事と二
足の草鞋をはかれて益々多
忙な日々を過ごされたよう
です。数多く残る思いの中
で最も印象深い思い出とし
て、「当時は歩いてばかり
でしたから、石神地区でお
産を済ませ、五十センチ
程積んだ雪の中を小津奈木
地区まで次のお産のために
行ったことは忘れられん
ですね。また、近い所ばかり
だったけん良かったんです
が、一日に四人取り上げた
こともありました」と話さ
れました。
今回の授与式は宮城県で
行われたそうですが、「せ
っかく行ったのですから、
十日間程いてゆっくりして
……



表彰状を持たれて

来しました」とはご主人の弁。
平成十三年に金婚式を迎
えられ、夫婦水入らずの生
活を送られています。書道
や水墨画を嗜まれるご主人
とともに、元気でいて下さ
ることを願うばかりです。
（澤井記）

短歌

本郷武雄選

肥後狂句

つなぎ短歌会
うけつぎしもの一つかきき母の
声に似るとて妹の言う
白浜美和子
丹念にそでし菊を露剪りて
仏に供ふ五分咲きなれど
福田 重子
苦しきも哀しみも経し歳月に
溶けて迎ふる七十三歳
寺本ツルヲ
癒ゆるなき病の夫を看りつつ
部屋温むる秋ふかむなか
西 滋子
犬尾草風吹くまゝにたわみいる
逆らうほどの動き持たねば
加来 道子
小雪にまだ残れるコスモスの
小さく咲きし花のくれない
野田 浦子
生きのよき
刺身にしても うごいとる
心配ご無用
呆けちゃ居られん いそがしさ
宰相
生きのよき
タチの刺身の光つとる
心配ご無用
大事なところは抑えとる
達生
生きのよき
それが目当で あつまつと
心配ご無用
人のふところ 気にせんで
神無月
生きのよき
正社員そのはりきりは
心配ご無用
精密検査 異状なし
寅之助
生きのよき
航空便で来たイワシ
心配ご無用
ゼニで済むなら易いこつ
万葉
〔次回の笠〕
〇褒められて 〇やりばなし
一笠一句を二月一日迄
津奈木町教育委員会まで

随筆



津奈木小に 赴任して

永田 幸徳（津小校長）

一つめは「勉強が好きに
なる学校」です。「分かれ
ません」の声に添えて熱心
に指導する教室にしたいと
考えています。
二つめは「運動する学校」
です。体育と遊び、部活動
で体を精一杯動かしてほし
いと思います。
三つめは「きれいな学校」
です。「環境は人を作る」
といひます。苗を植えて春
……

日頃の保護者や地域のご
支援に感謝しつつ、これか
ら職員一同懸命に励んで
まいりたいと思っています。
文化センターそばの住宅
に住まわしていただいてい
ますが、津奈木町はすばら
しい所です。
挨拶と笑顔のあふれる町、
美しい彫刻の町、安心安全
な町づくりを一緒にやって
進めましょう。
町のマラソンで十年ぶり
に走って足を痛めたことか
ら、散歩が続いています。
津奈木川に沿った道を気
分良く歩いています。